

		大杉谷登山道	大杉谷登山センター	三重県	環境省	その他
江戸時代以前						記録なし、人跡未踏、到底人の行くことが出来ないところとして恐れられてきた。
享保6年	1885年					採薬使 野呂元丈らが入山した記録有
明治45年	1912年					日本山岳会員大北聡彦、大西源一が大杉谷から大台ヶ原へ初めて直登に成功
昭和11年	1936年				国立公園に指定	
昭和15年	1940年	大阪電気軌道(現 近鉄)が桃の木山の家と登山道を開発。(紀元2600年記念事業)				帝室林野局が堂倉小屋を建築
昭和36年	1961年					奈良県営大台ヶ原有料道路が大台山頂まで開通、登山者急増
昭和38年	1963年					
昭和47年	1972年	国の天然記念物に指定(文化庁)		歩道の改良、橋梁の改築や新築 昭和50年三重国体の登山競技コース		
昭和50年	1975年					
昭和52年	1977年		大台山系山岳遭難救助隊発足			
昭和54年	1979年	堂倉吊橋 落橋死亡事故発生				
昭和55年	1980年	全区間休止				
昭和56年	1981年					
昭和57年	1982年		社団法人大杉谷登山センターへ改組、大杉谷山岳救助隊の規約制定	吊橋7基、鋼桁2基、手鎖1294m、避難小屋2棟の整備		
昭和60年	1985年					
平成2年	1990年	「七ツ釜滝」日本の滝100選に入選				
平成3年	1991年	森林生態系保護地域に指定(林野庁)				
平成4年	1992年		山岳救助隊が第34回自然公園関係功労者環境大臣表彰受賞、三重県警本部より感謝状を拝領			
平成5年	1993年					
平成8年	1996年		山岳救助隊が安全功労者内閣総理大臣賞受賞	吊り橋4基、鋼桁2基、手鎖、避難小屋の整備		
平成13年	2001年		山岳救助隊が三重県県民功労者表彰受章			

平成16年	2004年	台風21号により吊橋10基と、登山歩道51箇所、鋼桁4基が被災。日出ヶ岳～粟谷小屋以外は通行止め。				
平成19年	2007年	大杉谷線歩道基本計画検討会(環境省・三重県・大台町等関係機関から構成)の設置 被災状況の把握、整備方針の検討				
平成20年	2008年			大杉谷登山口～日浦杉吊橋手前まで吊橋3基、鋼桁2基、登山道18か所の復旧。		
平成21年	2009年			日浦杉吊橋の新設、吊橋1基、登山道10箇所の復旧。	平等岨吊橋の新設、登山道300mの復旧	
平成22年	2010年	大杉谷登山口～シシ淵が部分開通		吊橋2基、鋼桁1基、登山道10箇所の復旧。		
平成23年	2011年					
平成24年	2012年	シシ淵～七ツ釜滝、粟谷小屋～堂倉滝が部分開通		鋼桁1基、登山道2箇所の復旧。		
平成25年	2013年		日本山岳遺産認定	吊橋3基、登山道11箇所の復旧。		
平成26年	2014年	10年ぶりに全線開通	社団法人から公益社団法人へ			
平成29年	2017年		大台警察署より感謝状を拝領			